

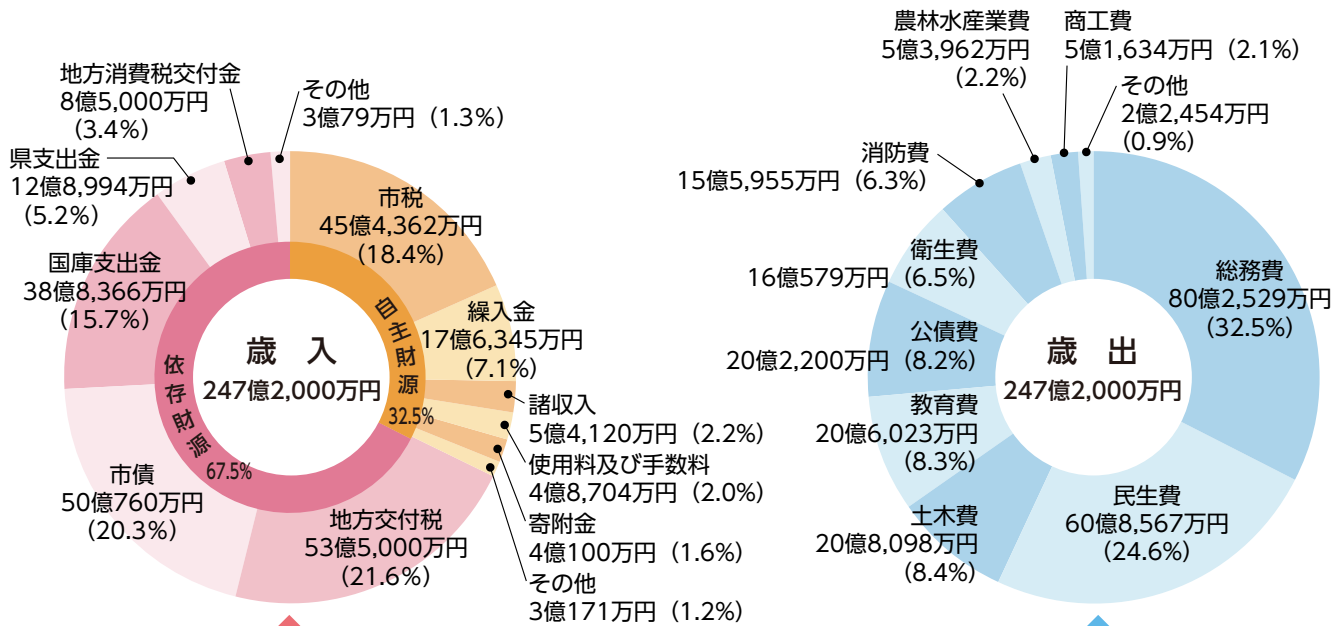
# 令和7年度予算が成立しました

将来を見据えて重点的に取り組むべき「地域医療の充実」「子育て支援」「教育の充実」「産業振興」の4つの柱と「防災」を主軸に、未来に続くまちづくりを推進する予算として編成した本年度の予算の概要をお伝えします。

**予算総額 247億2,000万円**

※四捨五入の関係で合計額などが合わない場合があります

前年度比20億6,600万円増 9.1%増



問い合わせ  
市財政課  
☎27-8416



予算の詳細は  
こちら

**市債：前年度比15億1,440万円増 43.4%増**  
新市庁舎の建設やいわて消防指令センターの整備など大型事業の増加

**市税：前年度比2億8,050万円増 6.6%増**  
国の定額減税制度による個人市民税の減収額の回復による増加

**地方特例交付金：1億8,500万円減 88.1%減**  
国の定額減税制度に伴う個人市民税の減少分に対する補てん額の減少

**国庫支出金：前年度比1億3,357万円増 3.6%増**  
地域防災拠点建築物整備緊急促進事業補助金や児童手当交付金等の増加

**繰入金：前年度比1億1,196万円増 6.8%増**  
新市庁舎建設に伴う庁舎建設基金繰入金の増加

**総務費：前年度比17億6,971万円増 28.3%増**  
令和7年度中の完成を目指す新市庁舎の建設工事、新市庁舎建設に伴う防災関連システムの移設経費の増加

**消防費：前年度比4億1,224万円増 35.9%増**  
いわて消防指令センターの整備やデジタル無線の更新に伴う釜石大槌地区行政事務組合分担金の増加

**土木費：前年度比1億9,193万円増 10.2%増**  
老朽化が進む市営釜石ビルの改修や新市庁舎周辺の道路整備による増加

**教育費：前年度比1億5,309万円増 8.0%増**  
甲子小学校のトイレ洋式化にかかる改修や市内小中学校の児童生徒に配布しているタブレットの更新費用の増加

## 予算を市民1人当たりにとすると？

一般会計の予算を1人当たりに換算すると、85万6,935円となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などさまざまな施策に取り組んでいます。

市民1人当たりの予算  
※令和7年1月末現在の人口を用いて算出

**85万6,935円**

<b>総務費</b> 27万8,202円	市役所の運営、住民票の発行、税金の徴収や選挙などの経費	<b>衛生費</b> 5万5,666円	健康推進、環境保全、ごみの収集などの経費
<b>民生費</b> 21万964円	児童、高齢者、障がい者のための施設の整備や福祉サービスなどの経費	<b>消防費</b> 5万4,063円	火災予防対策、消防施設の整備・管理、消防団に関する経費
<b>土木費</b> 7万2,139円	道路、公営住宅、公園などの整備や維持管理経費	<b>農林水産業費</b> 1万8,706円	農業や林業、水産業の振興などの経費
<b>教育費</b> 7万1,419円	学校教育や給食センターなどの経費	<b>商工費</b> 1万7,899円	商業や工業、観光の振興などの経費
<b>公債費</b> 7万94円	道路、河川、漁港などの施設を整備するために借り入れた市債（借金）の返済経費	<b>その他</b> 7,784円	議会運営、労働対策などの経費

令和7年度

# 施政方針

市議会3月定例会で小野市長が令和7年度の政策の方針を述べる施政方針演説を行いました。ここではその概要をお伝えします。

1 **地域医療の充実**

私たちがとりまく状況は、刻々と変化しており、まさに「予測できない時代」を迎えています。私を含め職員一人一人が行政の使命と自分の役割を再認識し、時代の変化や要請を的確に捉え、未来を見据えたまちづくりを進めていく必要があります。当市が抱えるさまざまな課題に対し、最善の解決方法を模索しながら、持続可能な市政運営に取り組んでまいります。

2 **子育て支援**

誰もが地域内で必要な医療が受けられ、安心して暮らせるよう、質の高い医療を効率的に提供する「地域医療連携推進法人」の設立やオンラインを活用した医療体制など、地域医療の充実に向けた取り組みを推進します。

3 **教育の充実**

少子化やグローバル化の進展により、教育環境は絶え間なく変化しており、「自分で考え、行動する力」が求められております。このような時代の中で、当市の将来を担う子どもへの教育を一層充実していくよう、地域に根ざした人間性豊かな児童・生徒の健全育成と学力向上に向けた取り組みを推進してまいります。

4 **産業振興**

近年、我が国では、円安や資源燃料価格の高騰に伴う物価上昇に對して賃上げが追いついていない状況であります。市内事業者の事業活動の活性化に向けた支援や、企業誘致の推進など、地域産業の振興に向け取り組んでまいります。

け、誠心誠意取り組んでまいります。今後は、4つの柱に加え、防災に力を入れ安全・安心に暮らせるまちづくりを推進してまいります。

昨年度は、懸案であった県立釜石病院の建替計画についての方針が岩手県医療局から示されたことや、当市が環境省から脱炭素先行地域に選定され、地域の脱炭素化に向けた施策を展開しながら、さまざまなつながりを生かした地域経済の活性化にも好機を得るなど、少しずつではありますが、具体的な成果が見られ、目標に向かって着実に進んでいると感じております。

私は、この釜石を「みんなが愛着と誇りを持ち、幸せを感じるまち」にしたいと強く願っています。一人一人が日常の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方の価値を見出す中で、愛着と誇りが芽生え、ともに支え合いながら、幸せや希望が連鎖するまちづくりを推進してまいります。市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

施政方針の全文はこちら





# 「新たな時代」に向け優先して取り組む施策(4つの柱)

「新たな時代」に向け、優先して取り組む施策を「4つの柱」と位置付け、第六次釜石市総合計画の将来像実現のために取り組む重点プロジェクトと併せて推進します。4つの柱として実施していく取り組みは次の通りです。

問い合わせ  
市総合政策課  
☎ 27-8413

※ 4つの柱と重点プロジェクトの事業数と予算額は重複する部分があります

## 教育の充実

30 事業 4 億 4,822 万円

地域に根ざした人間性豊かな児童・生徒の育成と学力向上に向け、望ましい教育環境を確保するための学校規模の適正化や適正配置に向け取り組むとともに、当市の未来を担う人材の育成やあらゆる年齢層に対応した学びの場の創出に向けた取り組みを推進します。

### 具体的な取り組み

- 望ましい教育環境の確保に向けた学校規模の適正化・適正配置
- 放課後の時間などを活用した学習会の開催
- 実用英語技能検定料の支援
- 世界遺産に関する施設見学や鉄づくり等の体験学習の充実
- 「本のまちプロジェクト」構想に向けた取り組み
- 「釜石オープン・フィールド・カレッジ」構想<sup>\*</sup>の推進

※ 圏域内高等教育機関などとの連携を図りながら、さまざまな学びの場を創出し、当市の未来を担う人材の育成やあらゆるライフステージに応じた学びの場を提供する他、釜石ならではの魅力的な体験プログラムの提供を通して、地域外の大学生や社会人を当市に呼び込むなど、持続的な交流人口の増加を図るもの



## 産業振興

33 事業 10 億 1,407 万円

市内事業者の経営力向上や新たなチャレンジへの支援を実施し、地域産業の振興に向けて取り組みます。

また、さらなる雇用の場の創出や地域経済の発展に向け、高規格幹線道路や重要港湾である釜石港を有する当市の強みを活かし、さらなる企業立地の実現を目指します。

水産業は、近年の主要魚種の不漁などにより、経営が厳しい状況にある釜石魚市場と漁業協同組合の経営基盤や組織体制の強化に努めるとともに、サクラマスの海面養殖やウニの畜養事業など新たな取り組みによる水産業の振興を図ります。

### 具体的な取り組み

- 経営者や中核を担う人材などのスキルアップに向けた研修・伴走支援
- 創業など連携した起業・創業の促進
- 地の利を生かした企業誘致・物流機能の推進
- サクラマスの海面養殖やウニの畜養などの取り組みを契機とした持続可能な水産業の構築



## 地域医療の充実

7 事業 1,978 万円

「地域医療連携推進法人」を設立し、医療機関の機能分担と連携を推進するとともに、岩手県が導入する「救急安心センター（<sup>シャープ</sup> # 7119）」を活用し、緊急時における適切な医療相談体制を構築するなど、地域医療の効率化や限られた医療資源の有効活用を図ります。

また、オンラインを活用した医療や将来的に釜石医療圏で働く医師数の増加に向けて取り組みます。

### 具体的な取り組み

- 地域医療連携推進法人の設立
- 救急安心センター（<sup>シャープ</sup> # 7119）を活用した相談体制の構築
- 「いわてリハビリテーションセンター」のサテライト施設の誘致に向けた取り組み
- 小児科・婦人科オンライン相談の実施



## 子育て支援

14 事業 3 億 6,702 万円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制を構築するとともに、出産や子育てに関する経済的負担の軽減を図ります。

また「室内の遊び場」の整備など、子育てしやすい環境の充実にに向けた取り組みを推進します。

### 具体的な取り組み

- 「こども家庭センター」による切れ目のない支援体制の構築
- 学校給食費無償化の対象を第 2 子以降の児童生徒に拡充
- 「妊産婦健康診査等アクセス支援助成金」の上限撤廃や「妊婦応援給付金」の継続
- 室内の子どもの遊び場の整備





## 防災まちづくりの推進

9 事業 8 億 1,410 万円

切迫性が危惧される大規模地震や全国的に被害が激甚化・頻発化している大雨災害への対策として、災害の種別に応じた危険箇所の見える化や、防災意識の向上を図ります。

また、地域防災の要である自主防災組織の活性化に向け、スキルアップを目的とした研修講座を開催するなど、組織率向上とともに既存組織の活性化に向けた取り組みます。



## 持続可能な交通体系の構築

2 事業 1 億 2,965 万円



人口減少や少子高齢化に伴い、高齢者の移動手段の確保と地域公共交通の維持、今後のあり方が課題となっています。市内路線バスは、バスと鉄道間、バス間の乗り継ぎ環境を改善し利便性向上に努めます。

鉄道は、観光振興や災害時の移動手段としても重要な役割を担っているため、国や県、沿線自治体と連携しながら取り組みます。

## エネルギー対策の推進、DXの推進

デジタル・トランスフォーメーション

5 事業 1 億 5,771 万円

### ◆脱炭素先行地域の取り組み



昨年9月に環境省から脱炭素先行地域に選定されたことから、家庭、事業所での太陽光発電や蓄電池の導入、公共施設や未利用地への太陽光発電の導入、ブルーカーボン・オフセットの創出、地産地消の仕組みづくりなど、脱炭素に向けて取り組みます。

### ◆デジタル技術の活用



デジタル行政サービスを網羅的に届けるための共通の入口となる「スーパーアプリ」の運用や行政サービスの最適化と利便性向上のため、各課で所有する地理空間情報を統合する「統合型GIS」の構築に向けて取り組むなど、デジタルを用いた新たな変革を生み出し、市民ニーズに応えられる地域を目指します。

問い合わせ  
市総合政策課 ☎27-8413

## 重点プロジェクト

第六次釜石市総合計画に掲げる将来像の実現に向け、分野別に重点プロジェクトを定め、戦略的な施策の展開を図っていきます。各重点プロジェクトと今年度取り組む主な施策は次の通りです。

※4つの柱と重点プロジェクトの事業数と予算額は重複する部分があります

## 人口減対策

21 事業 6 億 9,253 万円

### ◆つながり人口の創出



首都圏の企業等から多くの皆さんに参加いただいている「釜石版ワーケーション」の取り組みを推進するとともに、官民連携により新たなワーケーション施設を整備し、地域内外の多様な交流によって生まれるつながり人口とさまざまな活動に積極的に関わる活動人口を増やすことで、まちの活力の創出を図ります。

### ◆移住・定住施策



当市の魅力をプロモーションしていくため、SNSを活用した情報発信を行うとともに、首都圏などで開催される移住セミナーへ積極的に出展し、移住相談に直接対応することでU・Iターンの推進に努めます。

## 健康寿命日本一に向けて

9 事業 2 億 7,993 万円

当市の脳血管疾患・がん・心疾患の三大疾病の年齢調整死亡率は県内で高い状況です。この状況を改善するため、働き世代の健康づくりへの意識向上に向けた取り組みなどを通じて健康寿命の延伸を目指します。

### ◆各ライフステージに応じた健康づくり



幼少期からの食育が重要であることから、教育保育施設や学校と連携した食育事業や、う歯予防と口腔衛生の意識向上を図る歯科保健事業を展開します。また、生活習慣病予防や重症化予防に向け「脳卒中撲滅プロジェクト」を推進し、幼少期から高齢期までのライフステージに応じた健康づくりの取り組みを推進します。

### ◆若年層の受診率の向上



受診率の低い働き世代の人が受診しやすいよう、土日や休日、早朝や夜間の時間帯に検診を実施する他、一部の検診では託児サービスの提供、健康診査と複数のがん検診をセットで行うなど、受診率の向上に向けて取り組みます。